

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらきら星			
○保護者評価実施期間	令和7年5月7日 ～ 令和7年5月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和7年5月7日 ～ 令和7年5月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小規模事業所ならではの細やかな支援	集団活動の中でも個々の特性に合わせた支援となるよう常に話し合い取り組んでいる。	子どもの成長を見ながら、変化する状況に合わせた支援を行えるように心がける
2	日頃より子供の状況を保護者に丁寧に伝える。	送迎時にはできるだけ保護者の方と顔を合わせられるようお願いしている。メールやラインも利用して補っている。	ご家庭それぞれの状況に合わせ、わかりやすく伝えられるよう工夫する。
3	公共施設の一部を使用しているので、スペースは広く、活動に活かしている。地域の方と会う機会も得られる。	公共施設の部屋を借りて活動し、活動プログラムの内容の充実に活かしている。	公共施設を利用する際のマナーを子ども達に伝え、地域での生活に活かせるような支援につなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小規模事業所であるため、職員補充等難しい。	利用者を増やさないと財政的に厳しいが、送迎の場所の問題や支援の質を考えると安易に増やせない。	利用者が増やせるよう業務の効率化を図る。
2	関係機関、地域とのつながりが強化されていない。	情報共有のタイミングを迷い、躊躇してしまう。	保護者の要望を考慮しつつも、必要を感じるところでは、積極的にアプローチしていくことも必要。
3			